



No.46

平成29年  
6月1日発行

# かみかわ町 議会だより

➤ 議会を傍聴しませんか？

第3回定例会は6月6日(火) [午前9時~]  
一般質問等から14日(水)を予定しています。

今号よりカラーに  
なりました



## 「八日市の納涼祭」

(写真提供 八日市町民 昨年の様子)

毎年夏に、八日市集会場で納涼祭が行われています。  
子どもみこし、神川豊穰太鼓、だんべえおどり、カラオケ、民謡踊りなどを通し小さな子供達からお年寄りが参加し地域のコミュニケーションがはかられました。

## ● 主な内容 ●

- 平成28年度神川町一般会計補正などを可決
- 平成29年度神川町一般会計当初予算を一部修正し可決
- 平成29年度特別会計等当初予算の可決

かみかわ町議会だよりはユニバーサルデザインフォントを使用しています。



心に根付く偏見や差別の意識改革をし、子供たちに良い環境を与えられる社会にするための取り組みが必要ではないでしょうか。不登校や大人のひきこもり、貧困、LGBT発達障害、生活保護等に対する学習と理解を深め掘り起こしを広げ、個々の状況に見合った支援につなげられる専門職員の十分な配置と、組織強化についてのお考えを伺います。

答え 町長



「全世代を対象とした地域包括ケアシステムの構築を目指します」

町でも家族構成の変化や地域のつながりの希薄化等により、福祉の窓口での相談件数は年々増加しています。その内容も経済的な問題だけでなく、健康、障害、家族

関係など、複数の課題を抱えているケースが多く見受けられます。町では、全ての人が住みなれた地域で安心して暮らせるため、専門職の見識を生かすとともに、相談窓口の強化、拡大と福祉、医療、介護、保健などの分野を問わず、全世代を対象とした地域包括ケアシステムの構築を目指してまいります。

就学援助金と奨学金制度について

「実態に合った活用を」

国の2017年度予算案では、就学支援金のうち、新入学準備費用の国の補助単価が2倍に引き上げられました。これは日本共産党の田村智子参議院議員が昨年5月24日の参議院文教科学委員会で、就学援助費の引き上げを要求していたものです。神川町も国の補助単価を参考に設定していますので、引き上げて頂けるか、また、支給時期を実態に合わせて、入学前に改善して頂けるか伺います。

奨学金制度については、神川町の成績基準は実態に見合っているか、また神川独自で給付型奨学金を考えているか伺います。

答え 教育長



「支給時期、判定基準の見直しを検討します」

現在町では、経済的理由で就学が困難な家庭やひとり親家庭等に対して援助を行っており、小中学校全体で約100人の児童生徒が援助を受けております。

議員ご指摘の奨学金支給の時期ですが、現在の援助時期では、生活が厳しい中、負担がかかっているという現状を理解しておりますので、前向きに検討してまいります。

続きまして、奨学資金でございますが、町では大学及び専門学校等へ通う学生に対して、審査を行い、無利子で奨学資金の貸付制度を実施しております。

議員ご指摘の奨学金の判定基準でございますが、世帯の所得審査のほかに、学力評価の基準があります。相談者や申込者は、毎年若干名おりますが、国の奨学金制度を利用される学生が多いため、町の利用者は少なくなっています。

以上ことから、今後教育委員会等の意見も聞き、判定基準の見直しを含む制度のあり方等につきまして検討してまいります。

介護者手当について

「要介護3の介護者にも拡充を」

現在要介護4又は5に認定されている65歳以上の在宅高齢者と同居し、常時介護している方への手当を、要介護3の介護者へ拡大して頂きたいと思っております。

在宅医療、介護の充実を目指すならば、家族の協力が重要ではない

ですか。在宅の介護者にも寄り添って頂けるか、お考えを伺います。

## 答え 町長

### 「慎重に検討します」

町では、平成20年度に在宅における介護者の負担軽減を図るため、寝たきり老人手当て及び寝たきり老人介護者手当の統廃合を行い、要介護高齢者介護手当を開始し、継続しております。支給対象は、介護保険法に規定する要介護認定において要介護4または要介護5の区分に認定されている方を在宅で介護している同一世帯の家族の方

に月額8,000円を支給しております。

そのような中、現金給付からサービス給付へ移行するという考え方により、手当を廃止する県内の自治体もございます。新たに対象区分を要介護3まで拡大した場合、支給対象にあたる方は、高齢化社会に伴い、今後ふえることも予想されます。介護される方も苦労は察するに余りあるものであります。福祉サービスの利用者もふえ続ける中、限りある財源を有効に活用するため、慎重に検討してまいりたいと考えております。



柴崎 愛子 議員

## 職員研修について

### 「町づくりのための先進地視察について」

町では、平成25年から職員のための研修費の予算を充てているが、現状年間1人ないし2人しかその利用がありません。私達議員もより良い町にするため、先進地の視察を行っています。今、インターネッ

ト等で何でも情報を入手することが出来ますが、実際を見ること肌で感じることは、大きな差があります。

神川町の職員も、このような町にしたいとテーマを持って計画立案し、1人で行くのではなく、現在担当している課とは違う分野のものであったり、課が違う人たちと共通の話題の見聞が出来たら、神川町が凄く変わる気がします。職員が視察研修に出やすい職場の環境づくりを考えて頂きたいと思いますが、町長の考えを伺います。

## 答え 町長

### 「積極的に参加できる環境づくりを進めます」

町では、全職員を対象に年間研修計画を策定し、積極的な研修参加を推進し、職務遂行に必要な基本知識の習得や公務としての自覚や意識改革などで、勤務年数や役職に応じて実施しております。

そのような中、議員ご指摘の先進地視察は、地域活性化に積極的に取り組む、魅力ある地域づくり

の成果を上げていく自治体において、その施策の成立までの経緯をはじめ、苦労話や今後の展望などについて机上の研修では感じ取れない担当者の生の声を聞くことができる大変意義のあるものと考えております。

それらを踏まえ、町では各職員が自分の業務に関係する研修はもちろんのことですが、役職の違いや課の垣根等の問題などにとらわれることなく、まちづくりに必要と思われるものに対しては、積極的に提案、参加できる環境づくりを進めていきます。

## 今後の財政計画について

### 「大きな事業を進める中での公債費（借入金償還）について」

平成28年度予算で人口14,026人（平成28年3月1日現在）で

計算した1人当たりの公債費は30,015円です。これを20歳から60歳の働き手の人口6,983人で計算すると、一人当たりの公債費は60,288円になります。庁舎全面建て替え、認定こども園の建設等を予定している中で、神川町の公債費を何年で償還しようと考えているのか。また、公債費が最も大きくなるのは何年ごろと考えているのか。そして、その金額をどの位になると試算しているのか町の考えを伺います。

答え 町長



「公債費の適正化に努めます」

公債費のもととなる町の地方債現在高につきましては、年々増加しており、平成28年度末の決算見込み額は、約59億円となっております。

ご質問のように、新庁舎の建設

事業や認定こども園の整備事業があります。他の事業等の借り入れ状況を考慮して、借り入れ期間は20年から30年程度を予定したいと考えており、平成33年度に公債費のピークを迎え、約8億円を超える額を見込んでおります。

また、今後建設事業を実施する際には、町民が真に必要としている事業をしっかりと見きわめ、公債費の適正化に努めてまいります。

子育て支援について

「私立幼稚園就園奨励費補助金について」

この補助金については、文科省で昭和47年から有る制度です。県内63市町村の内、この申請書が提出されていないのは神川町を含む3町だけです。町が要綱をつくり、県に申請書を提出すれば補助が受けられます。補助率は入園料・保育料合計額の3分の1の補助が受けられます。

答え 教育長



「ぜひ地元の幼稚園の活用をお願いしたい」

現在町には私立幼稚園はなく、公立幼稚園が1園のみとなっております。

公立ならではの教育を行っており、ALTの導入で英語の勉強も行っております。また、幼小中学校の職員による共同研修、いわゆ

担当課に聞いてみましたが、神川町に町立の幼稚園が有るからと言うことでしたが、県内21の市と町に公立の幼稚園はあります。町内に私立幼稚園が無くてもこの制度を受けている町村は4つあります。近隣の本庄市、上里町、美里町でもこの私立幼稚園就園奨励費補助要綱があるのに、なぜ神川町にはこの要綱がないのか、町の考えを伺います。

るオール神川での研修を行い、子供たち一人一人に目を向けたきめ細かな教育を実施しております。

議員ご指摘の町外私立幼稚園への就園奨励費の補助の件でございますが、現在の神川幼稚園は少子化や人口減少等により、定員180名に対し、園児数が135名と大きく定員を割っている状況にあります。そのような状況下でありますので、ぜひ地元の幼稚園の活用をお願いしたいと思います。



坂本貴佳 議員

マイナンバー制度について

「マイナンバーの利用及び交付状況について」

埼玉県の16市町村では、マイナンバーを利用した、コンビニでの各

種書類の入手できるサービスを実施しています。

このサービスは、全国48,000店舗のコンビニで、神川町の各種書類が入手でき、労働環境の多様化の中、現役世代の利便性向上のインフラ強化の一環と考えます。コスト面は厳しいが、町として導入のお考えをお聞かせ願います。また、多様化する行政事務処理に対応した住民サービスの迅速な実現での使用、及び写真付き身分証明書としての利用も考えられる。運転免許証を返上したご年配の方にとっては、身分証明書として非常に有効と考えます。

前回、6月定例会での質問では、このマイナンバーカードの普及率が低かったが、その後の普及活動・交付状況はどうなっているかお伺いします。

## 答え 町長



**「高額な導入コストが必須なため慎重に対応して行きたい」**

現在国は、マイナンバーカードの普及を促進するために、メリットを実感できる行政サービス、例えば住民票をコンビニエンスストアで取得できるサービスの導入を全国の市区町村に促しています。しかし、コンビニ交付については、現状の交付方法よりはるかに高額なコストがかかりますので、神川町としては慎重に対応せざるを得ない状況であります。交付につきましては、これまでに交付した枚

数が、2月1日現在で891枚です。交付通知書の発送ペースで1,025件となっております。微増している状況です。今後は、広報やホームページ等で交付について推進していくとともに、国や他の市町村の動向の把握に努めながら普及活動を行っていきます。



落合周一 議員

## 高齢者の健康増進について

**「常設のグラウンドゴルフ場の設置について」**

現在神川町には自身の健康を守るため、多くの町民がウォーキングをしております。またグラウンドゴルフをしながら足腰を鍛えている高齢者も数多くおります。しかしながら常設の施設がないために、その準備や片付けに多くの時間がかかり十分に運動が出来ない現状であります。町民の健康とコミュニティの増進を図るために、毎日そしていつでも運動ができる常設のグラウンドゴルフ場を町民グラウンドの一角に新設していただきたいと思っておりますが町の考え方を伺いします。

## 答え 教育長



**「既存施設の有効活用をすることで検討したい」**

町では、高齢者の健康増進のためグラウンドゴルフやターゲット・バードゴルフなど推進しています。

現在町には、グラウンドゴルフの常設コースはなく、各地区で仮設コースを設置して活動を行っています。

いる状況です。

また、町では専用グラウンド整備に必要な経費や整備後の維持管理費を考えますと、すぐに常設のグラウンドゴルフ場を設置することは難しいものと考えております。まずは、既存施設の有効活用を図ることで、グラウンドゴルフを楽しめるような取り組みを検討し、新たな施設を整備することについては、グラウンドゴルフの普及状況や住民ニーズを把握するなど、動向を見ながら今後の検討課題としてまいりたいと思っております。



グラウンドゴルフ

## 神川町の空家対策について

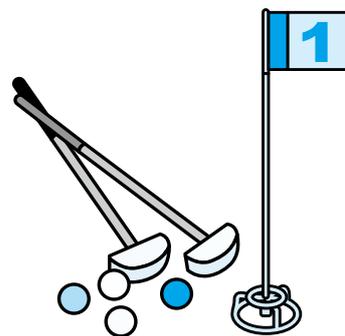
### 「定住促進施策の充実にちからを」

神川町の空き家になっていく住居を、新しい住居を探している町内外の人々に情報として提供する「北部地域空き家バンク」の創設に對して、町の思いと考え方を伺います。

### 答え 町長

「住んでみたいまちづくりを目指して積極的に取り組みたい」

町では平成27年度に空き家実態調査を実施し、町内に286軒の空き家があることを把握し、町単



独での空き家バンクを創設することを検討していたところ、埼玉県北部地域3市4町における総合戦略の一環として埼玉県北部地域空き家バンクが発足されました。

町でもこの空き家バンク制度の開始に合わせ、新しく住んでもらう人へのリフォーム補助や、さらには子育て世代への移住支援として、補助制度を策定し、新年度予

算にも計上させていただいております。

今後空き家対策だけでなく、定住促進を図るための事業は町の発展には必要と考えております。そのため、子育て支援や生活環境の

整備のさらなる充実に加え、新たに新築住宅支援など、魅力あるまちづくり、住んでみたいまちづくりを目指して積極的な取り組みを推進してまいりたいと考えております。



堀川光宣議員

## 町道について

### 「町道を含む砂利採取及びその後の埋土について」

県に提出した書類には、「砂利採取地は農耕地であるため、地盤高1メートルまでは排水を考慮した山土で埋め、その上に保水性のため砂利洗浄処理土を敷き均し、表土を還元した後は、農耕に支障のないようよく整地耕うんし、地主に返す。」とあります。

しかし、実際に埋め戻しに使用されている土は山土ではなく、残土と砂利洗浄処理土だけのようになっています。それらの影響か掘っている周囲では、数カ所の井戸が枯れています。また、町道までも採取許可をしているようですが、問題はないのでしょうか。

埼玉県では、この砂利採取の許可を神川町に移行してもよいと、みどり自然課の担当者より伺っています。この案件を神川町の条例にしていたら私には強く希望します。町の考え方を伺います。

### 答え 町長

「県に確認したが違反行為等は確認されていない」

砂利の採取につきましては、県知事の認可を受けて行っています。県に確認したところ町内での砂利採取を行っている事業所においては、違反行為等は確認されていないとのことでした。

また、井戸水の枯渇につきましては、申し出のあった地権者と話し合い、補償工事等を行うなど適切に対処していることを確認しております。

次に、町道での砂利採取については、事業期間中は、自動車や歩行者の通行も見込めないことから、周辺住民への周知を徹底すること

等を条件に町道敷地を貸し出し、砂利採取を許可しております。

最後に、砂利採取法に基づく許可権限については、議員ご指摘のとおり、権限の移譲について県より打診が来ております。しかしながら、許認可に係る審査業務やその後の指導等には専門的な知識や経験を必要とすることから、現在県内の砂利採取場のある8つの市町のうち、移譲を受けている市町はありません。神川町においても、職員体制等を考慮しますと、事務を受け入れることは現状では難しいものと考えております。



滝沢 邦利 議員

神川町の将来を担う子育て世代  
人口の増加策について

「主要生産年齢人口増加を図る」「住環境の整備」

「幼保・小中一貫教育の実現」について

企業誘致で雇用を確保し人口増加を進めていますが、増加に結びついてはいません。

結婚適齢期の定住促進と子育て世代の生産年齢人口移住型の促進が有効と考えます。町営住宅及び空き家バンクの空き家移住型向き活用で子育て世代の増加を図り、さらに子育て環境の充実策として幼保一体型の認定こども園を含め幼保・小中一貫した教育体制の基、健やかで利発な子育てが可能な教育環境の構築が必要です。幼保については看護師を配置し急病への対応、教育指導要領案に沿った幼保から始まる英語カリキュラム等の導入はいかがですか。教育理念と教育目標は行政、家庭、地域、事業者、団体、NPO法人など、教育にかかわる全てが共有し「神川っ子」を育てる教育環境と、行き届いた住環境の整備について伺います。

答え 町長

「各団体とビジョンを共有し、取り組んでいける環境づくりを目指します」

町では、神川町総合戦略の策定に際し、人口減少対策における現状分析として神川町人口ビジョンを作成し、公開しているところと、10年後の生産年齢人口は構成比率でおよそ4%減の7,380人、30年後には10%減の5,600人まで減少すると想定されています。

もちろんこれは対策を講じるこ

とにより大きく変化するものではないかと考えます。そのため、今まさに人口確保に重点を置いた第2次総合計画の策定に取り組んでいるところですので、ご意見、ご提案を参考にさせていただき、計画に反映してまいりたいと考えております。

また、認定こども園と小中学校に一貫した教育体系を築く中で、私は神川町教育の振興に関する施策の大綱の中にもある「健やかな体と豊かな心の育成」が大きなテーマであると確信をしております。

具体的には、食育の推進をはじめとし、家庭と連携して子供たちの健康維持増進を図り、より多くの体験活動を通じたコミュニケーション

シヨン能力の向上や人を思いやる気持ちや育んでいきたいと考えております。そのためにも議員ご指摘のとおり、各団体と教育理念、目標を共有し、取り組んでいける環境づくりをする所存です。



廣川 学 議員

## 町内の公園について

### 「現在の状況、今後の活用について」

町内の公園について今回で4回目の質問となるが、県内でも有数の公園面積の多い恵まれた土地の神川町はその分、整備などにかかなりの経費が必要となっています。現状はどのようなものか、又今後の活用についてはたくさんある公園ですから、特異性のある公園の個性を出すようなことはしないのか、2000年の地方分権一括法や2014年の地方創生などにより、各自治体で考えて運営をしているのか、この時代に、これからの町の方向性について、たくさんの方を神川町のすばらしい点ということでアピールする方向にはならないのか。あるいはもっと先を見据えた施策があるのか伺います。

### 答え 教育長

町でも29年度からコミュニティスクールを導入し、学校と地域の方が一緒になって子供たちの子育て、教育の内容についても検討していきます。

### 答え 町長

### 「公園の魅力アップに取り組んでおります」

町内の公園の維持管理につきましては、シルバー人材センターとの委託契約や指定管理者制度を導入するなど、適切な管理に努めておるところでございます。そのようなか、近年では城峯公園の遊具の入れかえや展望デッキの改修、神川ゆ〜ゆ〜ランドの町営グラウンドの芝生張りかえや野球場のグラウンド整備、今年度はターゲット・バードゴルフ場内の整備を行うなど、町民のニーズや利用状況、地域振興の観点から公園施設の修繕工事を実施し、公園の魅力アップに取り組んでおります。

公園の活用は、各種イベントや行事の開催、スポーツ少年団や体育協会の活動での利用、さらには春から夏にかけて多くの家族連れや学生の方々がバーベキューやキャンプでご利用いただいております。児童公園や広場では、小さな子供たちが遊具で遊んだり、地域の方々がグラウンドゴルフを楽しまれたり、日々の憩いの場と

して活用していただいております。また、美原公園、丹荘公園、青柳公園の3カ所は、神川町地域防災計画の避難場所として指定されておりますので、災害発生時には地域防災の拠点としての活用も進めてまいります。

さらに、町で推進している地域総合戦略の一環として、「道のオアシス神泉」に隣接する秩父瀬神流パークにおけるきらり水辺活用プロジェクトと合わせて公園緑地の整備を実施してまいります。

今後も社会環境やライフスタイル、少子高齢化等の社会情勢の変化を踏まえ、公園としての機能や施設のあり方を検討し、安全で安心して利用できる公園の整備を推進しアピールしてまいりたいと思っております。





赤羽 奈保子 議員

高齢者、障がい者の外出支援について

「公共交通を使う際の支援及びバス停の整備について」

町では、現在高齢者タクシー利用補助事業や在宅重度心身障がい者福祉タクシー利用料金補助事業として外出支援を行っています。好評と伺いましたが、「足りない」との声も聞かれます。町とバス会社がそれぞれ補助をし、利用者負担がわずかで1年間の定期券を発行している町もあります。交通弱者の足としてバスの利用を考えていくべきだと考えます。

又、先日、初めて車椅子利用の方と一緒にバスに乗りました。バス停には縁石があり、せっかくのバスのスロープが下せず、すぐく急なスロープに車椅子を押さなければならぬ現状でした。縁石は危険回避のためなので、取り外してしまうのは難しいと思いますが、スロープが下せる間隔の確保が必要と考えます。町の考えを伺います。

答え 町長



「高齢者等の割引制度、バス停整備について研究してまいります」

町では、高齢者を対象とした補

助制度は、他の公共交通機関においても設けていないのが現状です。

今後超高齢社会を迎える中で、高齢者の安全な移動手段を確保していくことは喫緊の課題であり、利便性の高い公共交通機関への期待は増していくと認識しています。町としましては、既存公共交通機

関の存続と合わせ、地域の実情に合った高齢者の割引制度等について研究してまいります。

バス停におきましては、本年度完成した神川中学校前バス停などを整備してまいりました。議員ご

子ども医療費助成について

「子ども医療費の助成年齢の引き上げについて」

町では中学校卒業までの医療費を補助していますが、埼玉県全市町で15歳までの医療費の無料化を行っています。今国では高校の授業料無料化や、大学進学に給付型奨学金の創設をすすめている中、医療費だけが遅れているように思います。

「これからお金がかかる時なのに、どうして医療費は中学までなの」との声も聞きます。子育て支援としての医療費の年齢引き上げの考えがあるのか伺います。

答え 町長



「県内自治体の動向を把握する中で検討したい」

新たに対象年齢を引き上げた場合、当然町単独負担分の増加が見込まれます。

また、県内63市町村の拡大状況を見ますと、条件を付けて実施している自治体も含め、入院で10市

指摘の歩車道境界ブロックにつきましては、車椅子の方が乗りおりする際にご不便をおかけしております。この点につきましては、道路管理者やバス事業者と協議をして改修してまいりたいと思います。

町村、通院では9市町村となっております。

また、新たに平成29年度より4市町が拡大を検討していると伺っています。大多数の市町村は神川と同じ15歳の年度末までを対象としている状況です。対象の拡大については、今後県内自治体の動向を把握する中で検討してまいります。



渡辺浩一 議員

認定こども園について

「これまでの経緯と概要及び町民への説明は」

これまで子ども・子育て会議や、議会でも施設などを見学したりしてきました。29年度予算で土地取得のための予算なども計上されてきましたので、これを期して、これまでの経緯と概要について及び町民への説明について町の考えをお伺いします。

答え 町長



「幼保連携型認定こども園とし、定員おおむね350人程度です」

町立の保育所と幼稚園は、老朽化が進み、保護者から新しい施設を建ててほしいとの強い要望も寄せられています。そのため、就任当初より認定こども園の設置に向け、保護者アンケートを実施し、先進地の視察を踏まえ、さまざまな検討を行った結果、3園を統合し1園とし、幼保連携型認定こども園とし、おおむね350人程度

度の規模、役場周辺を候補地とし、平成32年度中の完成を目指すことと予定しております。

町民への説明会は、3会場で、懇話会を4会場で実施しました。また、そのほかに各保育所にて保護者説明会を実施したところで、今後の予定ですが、今年度中に神川町子ども・子育て会議の審議を経て、基本構想を策定し、町のホームページ等でお知らせしたいと考えております。

また、基本構想をもとに基本計画の策定を行い意見公募を実施し、平成30年度以降は、基本計画、実施計画を経て、平成33年度の開園を目指してまいります。今後も町民

の皆様は認定こども園計画への理解を深めていただけるよう、きめ細かな情報発信に努めてまいります。

※一般質問の全文は、議事事務局の会議録で閲覧することが出来ます。また、ホームページでも閲覧出来ます。

議案審議の結果

3月定例会は、平成29年度一般会計・特別会計の予算、平成28年度一般会計・特別会計の補正予算、条例の改正、などが審議され、一般会計予算の一部修正（観光総務費、観光用看板設置関連予算1,080万円を削除）及び附帯決議（認定こども園整備事業に対し慎重かつ丁寧な対応）がされ可決されました。

人事関係

◎副町長に神住健氏を同意

古平前副町長の県帰任に伴い町長から同意案が提出され、同意されました。

神川町大字矢納1049番地  
昭和31年4月20日生

◎教育委員会委員に竹内守氏を同意

任期満了に伴い町長から同意案が提出され、同意されました。  
神川町大字渡瀬1025番地10  
昭和19年9月19日

当初予算関係

詳しくは、広報4月号をご覧ください。

◎平成29年度神川町一般会計予算  
予算の総額を歳入歳出それぞれ68億920万円と定めるもの。

〈審議結果〉賛成多数可決  
◎平成29年度神川町国民健康保険特別会計予算  
事業勘定は歳入歳出それぞれ20億1,600万円、施設勘定は歳入歳出それぞれ1億709万5千円と定めるもの。

◎平成29年度神川町後期高齢者医療特別会計予算  
予算の総額を歳入歳出それぞれ1億1,928万1千円と定めるもの。

◎平成29年度神川町介護保険特別会計予算  
予算の総額を歳入歳出それぞれ

◎平成29年度神川町介護保険特別会計予算  
予算の総額を歳入歳出それぞれ

◎平成29年度神川町介護保険特別会計予算  
予算の総額を歳入歳出それぞれ

10億669万8千円と定めるもの。

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決  
 ◎平成29年度神川町町営バス事業特別会計予算

予算の総額を歳入歳出それぞれ971万2千円と定めるもの。

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決  
 ◎平成29年度神川町観光事業特別会計予算

予算の総額を歳入歳出それぞれ2,324万7千円と定めるもの。

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決  
 ◎平成29年度神川町公共下水道事業特別会計予算

予算の総額を歳入歳出それぞれ1億5,708万4千円と定めるもの。

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決  
 ◎平成29年度神川町水道事業会計予算

第3条予算の水道事業収益を3億2,813万6千円、水道事業費用を2億8,556万3千円と定め、第4条予算の資本的収入を153万1千円、資本的支出を1億1,526万7千円と定めるもの。

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

# 補正予算関係

◎平成28年度神川町一般会計補正

予算(第4号)

歳入歳出それぞれ7億3,144万2千円を減額し、総額を66億8,101万7千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

町税 3,000万円

国庫支出金 ▲2,573万円

県支出金 ▲1,130万円

繰入金 ▲4,978万9千円

繰越金 6,912万8千円

諸収入 404万9千円

町債 ▲74,780万円

○歳出に追加された主な項目

〔総務費〕 ▲48,174万4千円

〔民生費〕 ▲16,160万1千円

〔衛生費〕 ▲1,598万3千円

〔農林水産業費〕 54万1千円

〔土木費〕 ▲5,855万4千円

〔教育費〕 ▲1,410万1千円

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決  
 ◎平成28年度神川町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

事業勘定

歳入歳出それぞれ417万円を追加し総額を2億3,006万円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

国庫支出金 206万6千円

療養給付費交付金

147万4千円

県支出金 206万6千円

## 条例など

件名	内容	審議結果
神川町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び神川町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員の育児休業等に関する法律及び育児休業、介護休業等育児及び家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部の改正を行うもの。	○
神川町住宅資金貸付事業特別会計条例を廃止する条例	地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律による償還終了のため廃止するもの	○
神川町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	児童福祉法の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの	○
神川町在宅重度心身障害者手当支給条例の一部を改正する条例	障害児福祉手当及び特別障害者手当の支給に関する省令等の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの	○
神川町介護保険条例の一部を改正する条例	介護保険法施行令第38条第1項第1号に掲げる者の介護保険料の軽減について現行通りの公費負担が継続されることに伴い、所要の改正を行うもの	○
神川町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	一般職員に準じ、企業職員の扶養手当、育児休業、介護休暇等の所要の改正を行うもの	○
神川町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの	○
神川町公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律の規定に基づき、所要の改正を行うもの	○
神川町特定教育・保育施設の利用者負担額等に関する条例の一部を改正する条例	子ども、子育て支援法施行令及び児童福祉法の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの	○
児玉郡市及び深谷市における公の施設の相互利用に関する協議について	児玉郡市及び深谷市における公の施設の相互利用に関する協定書に規定する対象施設の変更により改めて協定を締結するため、所要の改正を行うもの	○
町道路線の廃止について	町道敷地の路線の組み替え等により	○

※審議結果 ○全員賛成(可決) △賛成多数(可決) ×賛成少数(否決)

共同事業交付金

繰入金 ▲3,378万4千円  
繰越金 ▲5,033万9千円  
繰入金 ▲5,511万9千円

○歳出に追加された主な項目  
保険給付費 ▲623万円  
共同事業拠出金 ▲277万9千円

保健事業費 ▲313万6千円  
諸支出金 ▲170万3千円

施設勘定  
歳入歳出それぞれ834万3千円を減額し歳入歳出予算の総額を1億884万6千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目  
診療収入 ▲1,250万円  
繰入金 ▲525万4千円  
繰越金 ▲981万1千円  
諸収入 ▲40万円

○歳出に追加された主な項目  
医業費 ▲834万3千円

〔審議結果〕全員賛成 原案可決  
○平成28年度神川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ55万円を追加し総額を1億1,445万8千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目  
後期高齢者医療保険料 ▲88万2千円  
繰越金 ▲89万3千円  
諸収入 ▲53万9千円

○歳出に追加された主な項目

諸支出金 55万円

〔審議結果〕全員賛成 原案可決  
○平成28年度神川町介護保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ650万円を減額し総額を10億2,206万9千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目  
保険料 ▲245万円  
国庫支出金 ▲381万3千円  
支払基金交付金 ▲1,251万9千円

県支出金 ▲80万1千円  
繰入金 ▲818万3千円

○歳出に追加された主な項目  
保険給付費 ▲650万円

〔審議結果〕全員賛成 原案可決  
○平成28年度神川町住宅資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ44万6千円を追加し総額を155万8千円とするもの。

○歳入に追加された項目  
繰越金 ▲32万3千円  
諸収入 ▲12万3千円

○歳出に追加された主な項目  
諸支出金 ▲54万6千円  
予備費 ▲10万円

〔審議結果〕全員賛成 原案可決  
○平成28年度神川町営バス事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ40万円を減額し総額を850万9千円とする

もの。

○歳入に追加された項目  
繰入金 ▲125万2千円  
繰越金 ▲85万2千円

○歳出に追加された主な項目  
事業費 ▲40万円

〔審議結果〕全員賛成 原案可決  
○平成28年度神川町観光事業特別会計補正予算(第1号)

債務負担行為のみ  
〔審議結果〕全員賛成 原案可決  
○平成28年度神川町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ1,076万5千円を減額し総額を1億6,640万3千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目  
国庫支出金 ▲20万円  
繰入金 ▲156万5千円  
町債 ▲900万円

○歳出に追加された主な項目  
総務費 ▲24万9千円  
事業費 ▲1,051万6千円

〔審議結果〕全員賛成 原案可決  
○平成28年度神川町水道事業会計補正予算(第3号)

収益的収入(予算第3条)で769万3千円を減額し、予算累計額を3億3,392万円とするもの

○支出で減額された項目  
営業費用 ▲769万3千円

〔審議結果〕全員賛成 原案可決

請願

◎総務経済常任委員会

件名 「農業者戸別所得補償制度」の復活を求めるとの請願

要旨 農業者戸別所得補償制度を復活させ国民の食糧と地域経済、環境と国土を守ることを求める

請願者 埼玉県 農民運動連合会

紹介議員 川浦雅子議員

会長 立石 昌義

〔審議結果〕継続審査

陳情

◎総務経済常任委員会

件名 関口地内町道1461号線の道路整備について

要旨 舗装等の整備工事をお願いする

陳情者 関口区長 伊藤政雄

〔審議結果〕採択

陳情者 関口区長 伊藤政雄

〔審議結果〕採択

## 第2回臨時会の ありまし

平成29年第2回臨時会は、5月1日(月)に開かれ、正副議長選出など議会構成等が決まりました。議案審議の概要は次のとおりです。

## 郡町議会後期研修会開かれる

2月13日、美里町コミュニティセンターに約40名の議員及び来賓が集まり、児玉郡町議会議長会主催による議員研修会が開催されました。

講演会は、全国町村議会議長会 議事調査部 参与 荒井幸弘氏から「地方議会の役割と権限について」と題して講演がありました。



郡議長会後期研修

## 報告事項

◎専決処分の承認を求めることについて

報告第1号 神川町税条例の一部を改正する条例  
 〈審議結果〉全員賛成 原案承認  
 報告第2号 神川町国民健康保険条例の一部を改正する条例  
 〈審議結果〉全員賛成 原案承認

## 議会日誌

※本日誌は、主に議長出席の行事を掲載しています。

### 1月



- 4日 定例全員協議会
- 議会活性化特別委員会 成人式
- 8日 青柳保育所地域交流会
- 11日 県町村議会議長会新年懇談会
- 12日 丹荘保育所地域交流会
- 県議長会視察研修会(寄居町・東秩父村)
- こだま青年会議所名刺交換会
- 14日 2分の1成人式
- 17日 利根グリーンセンター運営委員会
- 18日 社会福祉協議会理事会
- 19日 市町村トップセミナー
- 20日 児玉郡町村会賀詞交歓会
- 23日 国道254号県要望
- 27日 神川町商工会賀詞交歓会
- 29日 第20回ふれあいコンサート

### 2月



- 1日 定例全員協議会
- 議会活性化特別委員会 議会活性化特別委員会講演会
- 6日 広域議会全員協議会
- 8日 県防災訓練(シルクドーム)
- 10日 町村長・正副議長合同研修(県民健康センター)
- 13日 郡議会議員後期研修会(美里町)
- 14日 県北地域議長研修(横瀬町)

### 3月



- 16日 国保運営協議会
- 24日 本庄法人会神川支部研修会
- 28日 議会運営委員会
- 消防審議会
- 県議長会定期総会
- 1日 定例全員協議会
- 議会活性化特別委員会 第1回定例議会(開会、一般質問)
- 8日 第1回定例議会(当初予算説明、一般会計)
- 9日 第1回定例議会(当初予算説明、特別会計補正予算説明)
- 10日 新規事業説明会
- 13日 総務経済常任委員会
- 15日 文教厚生常任委員会協議会
- 16日 神川中学校卒業式
- 17日 第1回定例議会(条例、補正予算等質疑討論採決)
- 18日 第1回定例議会(当初予算、議案説明等質疑討論採決)
- 21日 かながわ福祉専門学校卒業式
- 22日 神流湖整備協会会議(鬼石支所)
- 23日 神川幼稚園卒園式
- 24日 社会福祉協議会理事会
- 27日 区長会
- 28日 丹荘・青柳・渡瀬・神泉小学校卒業式
- 29日 広域圏議会
- 30日 丹荘保育所・青柳保育所卒園式